



地域の子どもたちに夢を与え、 地域との連携で問題を解決

福島県 株式会社ニラク
「地域社会との共存、
発展を目指した社会貢献活動」事業



株式会社ニラク
代表取締役 社長
谷口久徳さん

電飾イベント用のワークショップと 依存問題の対策に向けた取り組み

福島県郡山市に本社を置き、県内を中心に53ホールのパチンコホールを展開する株式会社ニラクでは、「世の中を明るく、楽しく、面白くしていくことで、人々の幸せな時間を創造すること」を企業理念とし、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。2013年には「地域相互交流と地域産業発展に向けた社会貢献活動」で最優秀賞を獲得しており、それに続いての受賞となった。

地域社会との共存、発展を目指してニラクが2017年から実施しているのが、「ビッグツリーページェント・フェスタ in KORIYAMA」で点灯されるランプシェードを制作するワークショップである。

このイベントは郡山の冬の風物詩と知られるもので、JR郡山駅前をメイン会場に街路樹やオブジェがLEDで電飾され、光の競演といった趣がある。第14回となった昨年11月15日～今年1月13日までの開催期間中には、34万球の電飾が飾られた。昨年11月1日に行われたワークショップ

では、近隣の幼稚園の子どもたちをはじめ、イメージキャラクターを務める福島県のアイドルグループ「NINA-RAY(ニナレイ)」のメンバーを含めた約70名が、郡山市内にある国際アート&デザイン大学校で学生の指導のもと、「楽しいとき」「うれしいとき」をテーマに思い思いの絵や文字をランプシェードに描いた。なお、ワークショップ終了後には、ニラクのホールのお客様の厚意で集められたお菓子をプレゼントした。

また、ニラクでは昨年5月15日と11月8日の2回、パチンコ依存対策のための啓発セミナーを開催した。ニラクでは依存対策をCSRの一環として捉え、予防とセーフティネットの構築を地域との連携の中で進めることを方針としている。約50名が参加した1回目のセミナーでは、ギャンブル依存とは何か、その背景と対策のあり方を考えることをテーマに開催され、依存問題に取り組む専門家の講演会や公開討論会が行われた。約80名が参加した第2回目は、パチンコ事業者が行う依存対策と地域の支援、取り組みについて関係者から報告があった。



イベント参加した子どもたちにホールのお客様の厚意で集められたお菓子をプレゼント



開催したパチンコ依存対策のための啓発セミナー



認知症の方々も楽しく安心して 暮らせる地域社会づくりをサポート

愛知県 株式会社大木家
「RUN伴2019 in 愛知
イベント協賛・参加」事業



株式会社大木家
代表取締役 社長
大木伸浩さん

イベント協賛金の提供のみならず、 運営スタッフやランナーとしても参加

「RUN伴(ランとも)」という言葉を知ったことがあるだろうか。認知症の人と接点がなかった地域住民と認知症の人、その家族、医療福祉関係者、ボランティアなどが参加し、一緒にタスキをつなぐことで日本全国を縦断するイベントである。認知症の人と出会うきっかけがなかったがために、認知症の人へのマイナスイメージを持ってしまいがちだが、このイベントを通じて喜びや達成感を共有することで認知症の人も地域とともに暮らす大切な隣人であることを実感するという目的で、2011年からNPO法人「認知症フレンドシップクラブ」が主催して行われている。

愛知県豊橋市に本社を置き、県内はもとより、岐阜・滋賀・静岡・長野・兵庫県に21ホールを展開する株式会社大木家(オーギヤグループ)では、2014年よりこのRUN伴に参加。イベント協賛企業として登録し、協賛金の提供を行うだけでなく、社員自らが愛知県の実行委員会代表、運営スタッフ、イベントランナーとして参加している。さらに、イベント

当日には自転車・乗用車・ホール駐車場などのイベント運営機材・場所を提供するほか、地元ラジオ放送出演やイベント告知チラシの配布なども実施して周知活動への支援も行っている。

昨年、5回目の開催となった豊橋ブロックでは、野依町と江島町からの2ルートで実施され、参加者はおそろいのオレンジ色のTシャツを着て、立ち寄り場所でタスキをつなぎながらゴールであることも未来館ここにこを目指した。

主催した愛知県RUN伴実行委員会の田中健次代表(大木家オーギヤ人間力開発チーム主任)は、「認知症という枠にとらわれず、今後は東三河全域に広げていきたい」と、取材した新聞に対して答えている。

昨年は、愛知県内全体で528名(うち認知症当事者77名、大木家からは40名参加)が参加した。なお大木家では2016年の「オーギヤの森づくり」事業での受賞に続き、今年が2回目の顕彰事業の受賞となった。



協賛金の提供だけでなく、社員自らが実行委員会代表、運営スタッフ、イベントランナーとして参加



イベント当日には自転車・乗用車・ホール駐車場などのイベント運営機材・場所を提供